

緊急の街頭集会を開催

高プロを含む法案成立に強く抗議

6月29日、参議院本会議で高度プロフェッショナル制度(高プロ)を含む働き方関連法案が採決・成立したことに對して、連合北海道は同日夜、連合北海道石狩地域協議会と合同で抗議の緊急街頭集会を札幌市の大通公園で開催し、高プロを含む働き方改革関連法案の採決に強く抗議すると共に、今後も引き続き高プロの廃止と働く者の立場に立った働き方改革を実現させようと確認した。

連合北海道の出村会長は、「高プロを法案から削除せずに採決したことに対し抗議する」と厳しく指摘。過労死や過労自殺が減っていないことや過労による労災申請が年間500件近く出されている



出村会長

ことを紹介し「今求められているのは命と健康を守るための時間規制だ」と訴えた。今後の取り組みについて「年収要件を下げたり、対象業務を広げたりすることは認められない。しっかりと監視しなければならない」と述べるとともに、「採決されたが闘いはこれからだ。働く立場に立った働き方改革を実現させよう」と呼びかけた。

立憲民主党道連の市橋幹事長(後志管内選出道議)も「成立したが廃止を目指してがんばろう」と述べると共に、「やりたい放題の安倍政権は一日も早い退陣を求めたい」と訴えた。また、国民民主党北海道総支部の篠田女性委員長(札幌市議)は「規制を強化するものと緩和するものを一緒にしたこと矛盾がある」と指摘し、「成立したが終わりではない。日に1.3人が過労死する



↑28日に引き続き開催した集会に駆けつけた参加者



参議院本会議で採決したことに抗議する集会



高プロの廃止と働く者の立場に立った働き方改革を実現させようと団結ガンパローで確認

異常な国だ。廃止をしっかりと求めて共に取り組む」と決意を述べた。最後に齋藤副事務局長が「働く者、生活者の声を聞かない政治は正さなければならない。働く者、生活者、連合は団結しよう」と述べて参加者と共に怒りの拳を上げた。前日の28日に続く緊急の街頭集会だったが約100人が参加した。